

すずしろ

～開拓・発展・完成～

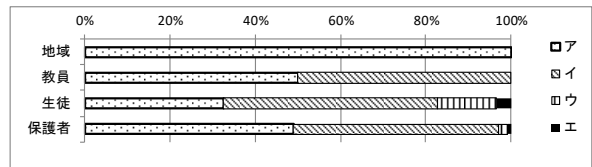
3月 第11号
令和4年3月10日
開進第四中学校だより
校長 児島 泰彦

日頃より、本校の教育活動にご理解・ご協力をいただき感謝申し上げます。また、学校評価アンケートにご協力いただきありがとうございました。皆様からのアンケートがまとまりましたのでご報告いたします。

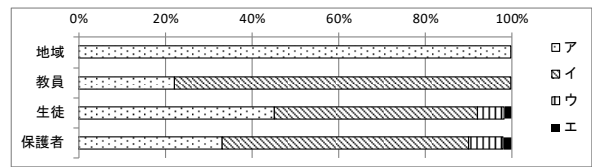
学校評価アンケートの結果

ア、そう思う イ、ややそう思う ウ、あまりそう思わない エ、そう思わない

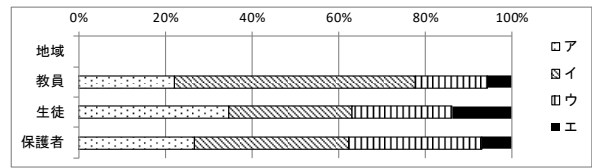
	ア	イ	ウ	エ	
1. 本校では、落ち着いた雰囲気の中で授業が行われていると思いますか。	地域	2			
	教員	9	9	0	0
	生徒	125	192	53	13
	保護者	182	178	8	3



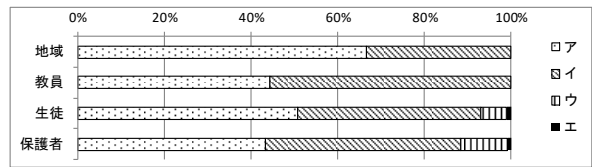
	ア	イ	ウ	エ	
2. 本校は、生徒の基礎学力を定着させるための取組を適切に実施していると思いますか。	地域	3			
	教員	4	14	0	0
	生徒	176	183	24	6
	保護者	122	209	29	7



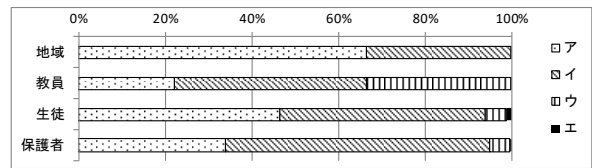
	ア	イ	ウ	エ	
3. お子様の家庭学習の時間は、年度当初より増えたと思いますか。	地域				
	教員	4	10	3	1
	生徒	134	111	89	53
	保護者	101	134	115	26



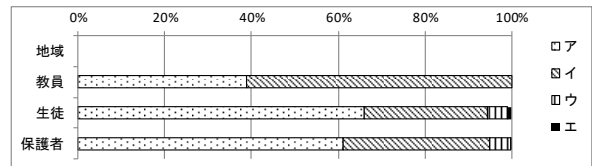
	ア	イ	ウ	エ	
4. 本校の生徒は、よくあいさつができると思いますか	地域	2	1		
	教員	8	10	0	0
	生徒	199	165	23	4
	保護者	162	168	40	3



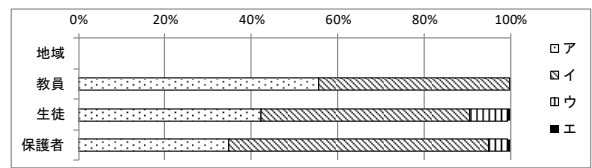
	ア	イ	ウ	エ	
5. 本校の生徒は、ルールを守り、規律ある生活を送っていると思いますか	地域	2	1		
	教員	4	8	6	0
	生徒	182	185	19	4
	保護者	126	227	18	1



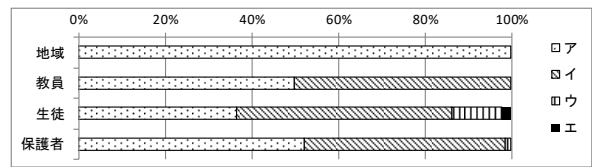
	ア	イ	ウ	エ	
6. お子様は、友人と仲良く、楽しく充実した学校生活を送っていると思いますか。	地域				
	教員	7	11	0	0
	生徒	258	111	18	4
	保護者	229	127	18	1



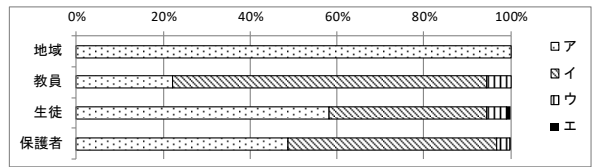
	ア	イ	ウ	エ	
7. お子様は、相手の立場に立って考えたり行動したりすることができるようになったと思いますか	地域				
	教員	10	8	0	0
	生徒	164	187	34	2
	保護者	131	225	17	2



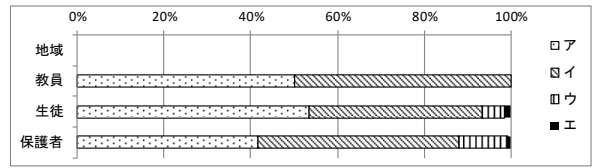
	ア	イ	ウ	エ	
8. 本校は、生徒に校内の美化・環境整備に適切に取り組まれていると思いますか。	地域	3			
	教員	9	9	0	0
	生徒	142	194	45	8
	保護者	193	172	5	0



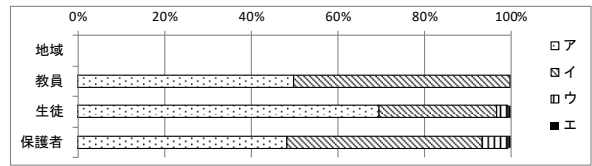
9. 本校は、生徒に安全・防災(避難訓練など)に適切に取り組ませていると思いますか。		ア	イ	ウ	エ
	地域	3			
	教員	4	13	1	0
	生徒	226	141	18	4
	保護者	181	179	11	1



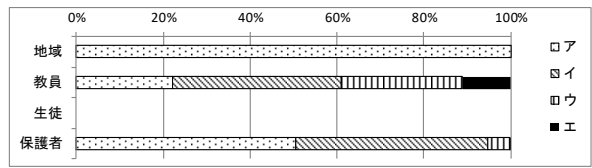
10. 教員は、お子様の話を良く聞き、困った時には相談にのっていると思いますか。		ア	イ	ウ	エ
	地域				
	教員	9	9	0	0
	生徒	207	155	19	6
	保護者	156	173	42	3



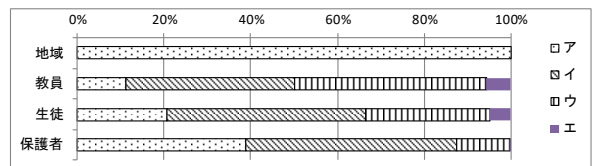
11. 教員は、お子様が悪い事をした時にはきちんと叱って指導していると思いますか。		ア	イ	ウ	エ
	地域				
	教員	9	9	0	0
	生徒	272	106	10	2
	保護者	180	168	22	2



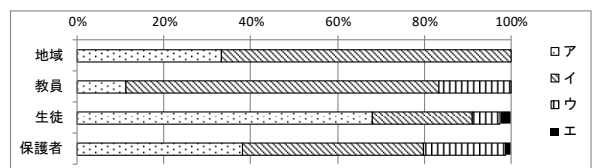
12. 本校は、学校だよりや学年・学級だより、ホームページ等で学校の様子を積極的に知らせていると思いますか。		ア	イ	ウ	エ
	地域	3			
	教員	4	7	5	2
	生徒	/	/	/	/
	保護者	189	166	19	1



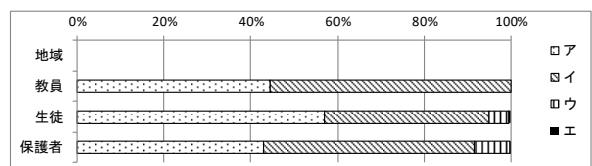
13. 本校は、地域の小学校と連携した教育活動に適切に取り組んでいると思いますか。		ア	イ	ウ	エ
	地域	3			
	教員	2	7	8	1
	生徒	80	178	111	19
	保護者	143	180	45	1



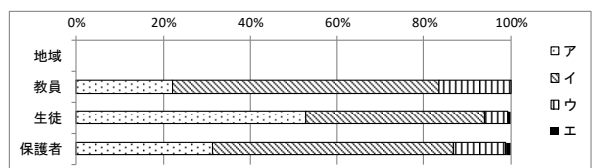
14. 本校の部活動は、充実していると思いますか。		ア	イ	ウ	エ
	地域	1	2		
	教員	2	13	3	0
	生徒	200	68	19	7
	保護者	142	155	70	5



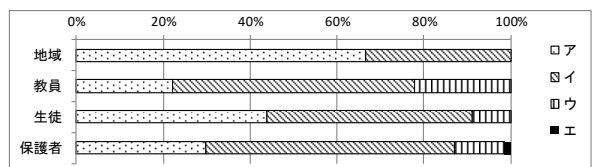
15. お子様の各教科の評価・評定は適切に行われていると思いますか。		ア	イ	ウ	エ
	地域				
	教員	8	10	0	0
	生徒	222	147	18	2
	保護者	155	176	29	1



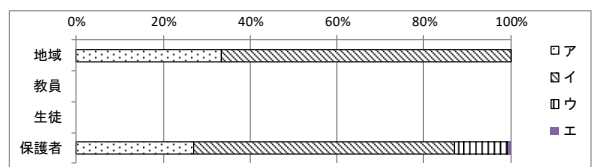
16. 本校は、生徒の将来を見通した進路について適切に指導していると思いますか。		ア	イ	ウ	エ
	地域				
	教員	4	11	3	0
	生徒	205	160	21	3
	保護者	111	195	43	4



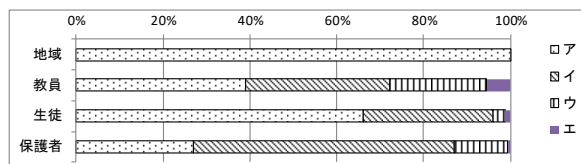
17. 本校は、運動や合唱コンクールなどの学校行事が充実していると思いますか。		ア	イ	ウ	エ
	地域	2	1		
	教員	4	10	4	0
	生徒	168	180	34	0
	保護者	101	193	39	5



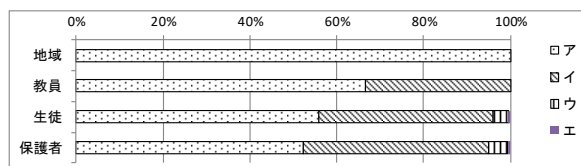
18. 本校の保護者や地域社会の人たちは、学校に協力的であると思いますか。		ア	イ	ウ	エ
	地域	1	2		
	教員	/	/	/	/
	生徒	/	/	/	/
	保護者	92	204	42	2



		ア	イ	ウ	エ
19. 学習活動にICT機器によるデジタルコンテンツ(タブレット等)の活用をしていると思いますか。	地域	1			
	教員	7	6	4	1
	生徒	252	115	10	5
	保護者	92	204	42	2



		ア	イ	ウ	エ
20. コロナ禍での活動を考慮して必要な感染対策を施して学習活動を行っていたと思いますか。	地域	2			
	教員	12	6	0	0
	生徒	218	156	14	2
	保護者	179	147	15	2



◇保護者アンケートの「今後、特に力を入れて取り組んでほしいことを3つ以内で選び、記号を書いてください。」の結果。

ア わかりやすい授業をすること
イ 道徳教育に力を入れること
ウ ルールや決まりを守る指導に力を入れること
エ 上級学校に進むための進路指導に力を入れること
オ 運動会や合唱コンクールなどの学校行事をもっと充実させること
カ 教室やトイレなどの施設や設備の美化に力を入れること
キ 安全や防災（避難訓練など）などの訓練を充実させること
ク 小学校との連携を充実させること
ケ 外部の講師やゲストティーチャーを招いた授業を充実させること
コ 日本の伝統や文化に関する教育内容を充実させること
サ 国際理解に関する教育活動を充実させること
シ 奉仕活動やボランティア活動などを充実させること
ス 教員の資質や指導力を向上させること
セ 基礎学力を向上させるための補充指導を充実させること
ソ 体力を向上させる取り組みを充実させること
タ ICT機器の活用を力を入れること
チ オンライン授業に対応した体制を構築すること
ツ その他

	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ	タ	チ	ツ
1年	44	15	15	30	16	2	6	2	30	19	23	16	19	37	6	20	20	3
2年	46	10	11	33	7	0	2	0	16	12	20	17	13	42	13	16	18	2
3年	30	8	6	10	7	1	1	0	15	5	12	7	11	25	6	25	26	2
合計	120	33	32	73	30	3	4	2	61	36	55	40	43	104	25	61	64	7

今後、特に力を入れて欲しいことでは、数年続けて上位3つは同じであった。これは、現在の学校状態からではなく、学校へ求められている根本的なものであると考えられる。

アンケート結果より

(1) 成果

- ① 保護者アンケートの回答において、ご回答いただいたほとんどの質問項目が 80%以上であり、さらに、95%以上の項目が 8 つもあった。これは、日頃の教育活動が概ね理解されているものと考え評価でき、引き続き、充実した教育活動を期待されている。
- ② 「落ち着いた雰囲気の中で授業が行われている」評価が 97%と高いことは、とてもうれしいことである。これは、生徒の状態が良く、全ての教育活動が下支えしている結果だと考えられる。コロナ禍での生活も 2 年目となり、従来の学校生活からの変化へ十分対応ができはじめていることもその理由ではないだろうか。

(2) 課題

- ① 家庭学習の習慣付けについては、昨年よりわずかに改善したが、中学校で急に変わるものではない。これは、各家庭によることもあるが、学校の指導でよくできる余地も考えられる。そのため、学校と家庭の両方の協力で改善を目指す。
- ② 保護者の記述は多種・多様で、宿題を見ても増やして欲しい方から減らして欲しい方まで見受けられる。また、コロナ禍により活動が制限された行事や部活動などはわずかではあるが、良い評価が減少している。

(3) 改善策

- ① 家庭学習について、各教科・学年でも指導している。また、毎日の生活ノートや毎回の定期テストでも計画表を書き、学習の準備ができるようにしている。自主課題や宿題により習慣付けできるように生徒に働きかけを継続していく。各家庭での協力も大きく影響するので、できればコロナ禍で開催できないが、可能であれば保護者会などを通して各家庭との協力体制を強くしていく。家庭学習とは、学力の向上を望むものであり、自主性を育むことにつながるので、キャリア教育でも学習の大切さを理解させる。
- ② 学校で行っていることの意味や必要性を丁寧な説明で続けていく。学校の全体的な様子だけでなく、学校便りや各種たより、ホームページ、メールからの連絡など、情報の提供内容をより細やかなものにしていく。また、個別に聞いていただき、わからないことから不安・不信につながることを防止する。

今年度も新型コロナウイルスの影響により、学校の教育活動全般で様々な対応を余儀なくされました。本来学校は開かれた場所であり、地域や保護者の方々、そして近隣の小学生が身近に触れることができる場所としてあるべきです。しかし、本校の特色である小中交流教室を生かした連携活動は昨年度に続き思うようにできる状態ではありませんでした。

ここで活用したのが ICT 機器です。本来は児童に来校してもらい実施している部活動体験は、各部ごとに映像を作成して小学生に視聴してもらいました。また、児童会・生徒会の交流もオンラインを用いて非接触型の交流を実施しました。保護者会の際には密を避けるため体育館へは集合せず各教室に入っただき、オンラインで全体会を開くなど工夫を凝らしました。また、学校ホームページに毎日生徒の様子をアップし、保護者の方が学校に来校しなくても生徒の活動の様子が見られるようにしました。さらに 2 月には各学年で学級閉鎖を行う必要がありましたが、その際にはタブレット端末を用いて学校と各家庭をつなげ、オンライン授業を実施しました。

すべての活動において、以前と同じようにできているわけではありません。これからもその活用方法を模索しながら今後の教育活動を進めていきます。まだまだ先を見通せる状態ではありませんが、今できることを着実に実行し、教職員の力を結集して次年度も取り組んでいき、保護者や地域の皆様の信頼を得られるよう邁進していきますのでよろしくお願いいたします。